



いつもお世話になり有り難うございます。今年に入ってから 2 月に市議会議員選挙、3 月は市議会定例会、4 月は市長選挙があり、目が回るような日々を過ごしました。選挙期間中は「税金のムダ遣い」や「市民との対話が不十分」など市政の問題点を指摘し、「将来世代にツケを回さないよう市政を変えていきましょう！」と必死で訴えさせて頂きました。皆さまから「選挙前までは関心がなかったけど、選挙を通して知ることができた。市政に関心を持たんといかんね」と言う声を聞くなど、少しずつ共感していただける方が増えていると実感しています。

私も議会改革に向けて「市民派・チームみらい」という会派を立ち上げ、議員としての責務を貫いていく覚悟です。今後も皆さまのご理解とご支援をお願い致します。

## 入札制度を見直しへ

### 「不落随契」の廃止を求める

「不落随契（ふらくずいけい）」とは、2 度の入札をしても予定価格を下回らず落札者が決まらない時は、最低価格を提示した業者と随意契約をすることができる制度です。

予定価格 3000 万円以上の工事は、平成 27 年度から予定価格を事後公表にした結果、不落随契が増加しました。21 件の入札で 99% 以上の落札になり、合計で約 40 億円の工事が予定価格のほぼ 100% で発注されました。（右の表の殆どの契約が不落随契です。）

平成 26 年度までは 99% 以上の落札は殆ど無く、入札の競争性向上のために不落随契を廃止にすることを 3 月議会で訴えました。

仮に 1 割低く発注ができていたとしたら、これらの工事だけでも 4 億円が節約できることとなります。市がこのような入札制度を続けてしまったことに疑問を感じます。

浅野市政になってから、99% 以上の落札が明らかに増加しています。また、行政をチェックするはずの市議会が機能していません。今の市議会には市民のチェックが必要です。

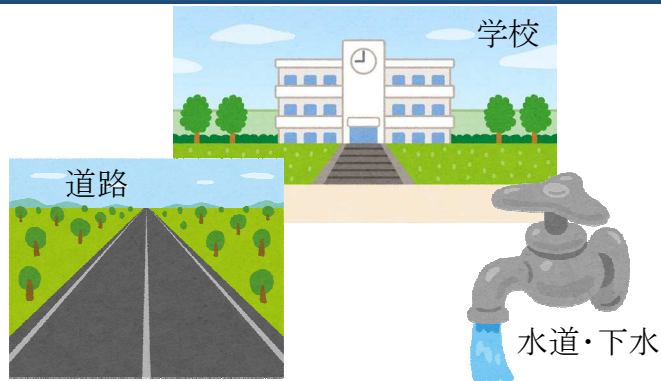
### 平成 27・28 年度は 99% の落札が急増

工事名	落札価格	落札率
平成27年度		
稲羽西小冷暖房・建築	ふ 36,936,000	99.98%
尾崎小冷暖房設備	ふ 112,536,000	99.85%
中央図書館空調	ふ 40,392,000	99.80%
各務原養護学校校舎解体	ふ 30,132,000	99.87%
防災行政無線システム	ふ 37,260,000	99.22%
鶴沼市民サービスセンター・建築	ふ 351,540,000	99.99%
平成28年度		
各務小他 1 校校舎外壁	ふ 46,980,000	99.99%
桜丘中校舎外壁改修	ふ 47,736,000	99.95%
緑苑小他 2 校校舎外壁	ふ 69,768,000	99.98%
陵南小他 2 校校舎外壁	ふ 52,920,000	99.53%
航空宇宙博物館収蔵庫	ふ 115,668,000	99.83%
那加中給食室空調機	ふ 31,752,000	99.69%
蘇原中冷暖房設備・建設	ふ 40,284,000	99.84%
中央中冷暖房設備・機械	ふ 130,680,000	99.75%
鶴沼中冷暖房設備・機械	ふ 154,980,000	99.70%
川島中冷暖房設備・機械	ふ 34,452,000	99.99%
桜丘中冷暖房設備・機械	ふ 187,488,000	99.96%
桜丘中冷暖房設備・建築	ふ 51,840,000	99.96%
航空宇宙科学博物館 リニューアル・建設	1,819,800,000	99.92%
航空宇宙科学博物館 リニューアル・空調	483,840,000	95.31%
雄飛ヶ丘市営住宅耐震	ふ 168,588,000	99.94%
柿沢ふれあいセンター改修	ふ 33,696,000	99.21%
合計	4,079,268,000	99.32%

### 市は「不落随契原則廃止」を決定しました。

1 億 5000 万円以上の契約は議会承認が必要になり、上の表の 6 つの契約は議会が承認しています。しかしそれ以外は調査して初めて明らかになりました。これほど多くの契約が 99% 以上になっていることに不自然さを感じます。市は不落随契を原則廃止にすることを決めましたが、もっと早く対応するべきだったと考えます。今後の入札に注目していきます。

# 公共施設（学校・道路・橋・水道・下水道など）の維持が困難



市の主な公共施設

学校	27校	本庁舎・産業文化センター
消防本部・消防署		総合体育館・市民プール
航空宇宙科学博物館		市営住宅 3ヶ所
北清掃センター		市営斎場
公園	192ヶ所	農業用水路 333km
市道路	1,150km	橋(2m以上) 467橋
水道	806km	下水道 612km

## 維持管理の予算が足りません

昭和40年代半ばから昭和60年代前半にかけて、学校施設を中心に整備が進められ、昭和57年までに公共建築物の半数が整備されるなど、この期間に一斉に整備されました。建設から50年が経過するこれからは多くの施設で改修や更新の時期を迎えます。

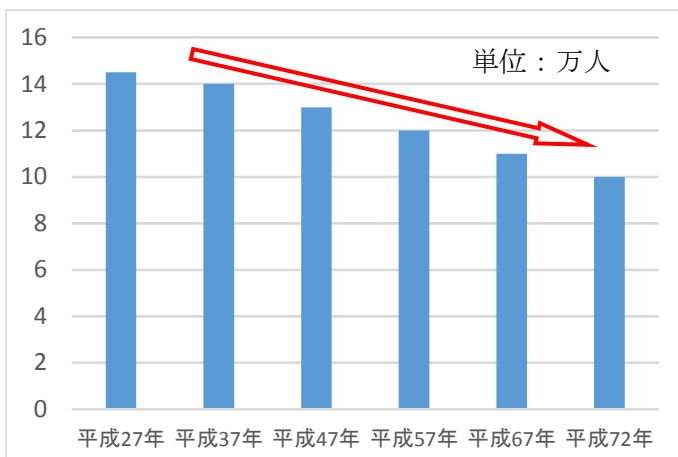
市がこれらを維持管理していくために必要な予算を計算したところ、今後40年間で予算総額が2,970億円、充当できる予算は2,520億円と計算されました。

総額450億円、毎年11億円が不足することが明らかになりました。

必要額	充当額	不足額
2,970億円	2,520億円	450億円

※公共施設を減らす検討が必要になります。

## 急激な人口減少時代がやってきます



現在14万5000人の市の人口は43年先（平成72年）におよそ10万人に減少する見込みです（社会保障・人口問題研究所推計）

高齢化率は約35%まで増加し、生産年齢人口比率は約54%に減少する予測です。

※今の子ども達には大変な未来が待っています。早急に人口減少対策と、コンパクトな町づくりが必要です。

## 今後の財政は要注意

今後は、人口の減少に伴い個人市民税が減少します。法人市民税についても、大きな経済成長を見込むことが難しいので、大幅な税収増は期待できません。

また、国からの財政支援が段階的に縮減され、今後、地方交付税の減少が見込まれます。

一方で高齢化が進み社会保障などの義務的経費は今後も増加することが見込まれます。これまで以上に財政が厳しくなります。

公共施設については、維持費が不足することから施設の複合化・多機能化、存続意義の薄れた施設の廃止について検討されます。定期的な点検・診断の実施と維持管理を徹底することにより、施設を健全な状態で維持しながら、使用年数の延長を図ります。

（以上は市の公共施設管理計画より抜粋）

※この計画ならば、市役所は建て替えるのではなく耐震補強をして使うべきです。

○議会インターネット中継について：「Youtube」又は、「杉山もとのり」のホームページから議会中継録画がご覧いただけます。また、Facebookで活動報告していますのでご覧ください。

【杉山もとのり事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町2丁目9番地

ホームページ <http://sugiyama-m.com> 電話 058-383-2900 FAX 058-260-8233